

分野 専門科目			
科目名 臨床看護総論	単位 時間	1単位 15時間	開講時期 1年 後期
講師名 櫻井 美樹	実務経験 専任教員／医療機関において看護師として勤務		
授業概要 看護診断を導きだすためには科学的な思考能力を身につけることが重要である。この授業では各症状の発生のメカニズムの過程を整理することでアセスメントに必要な分析力を養う。			
到達目標 1. 症状の発生のメカニズムの過程を調べることができ、その内容を関連できる。 2. 関連図を用いて症状の発生のメカニズムの過程、随伴症状と成り行きを説明できる			
DPとの関連 関連が深いもの◎、関連するもの○			
○	1. 看護の対象である人間を身体的、精神的、社会的に統合された生活者として理解する能力を養う。		
◎	2. 対象の健康状態やその変化に応じて、科学的根拠に基づいた看護の実践能力を養う。		
○	3. 人々の多様な価値観を認識し、やさしい心で接するとともに、専門職業人として倫理に基づいた行動能力を養う。		
○	4. 保健・医療・福祉システム及び多職種の役割や連携を理解し、多様な場で生活をする人々への看護を実践できる基礎的能力を養う。		
○	5. 看護への探求心をもち、専門職業人として自ら学び続ける姿勢を養う。		
授業の流れ【全体のスケジュール（回数）・学習内容・方法・準備物品など】			
時間	授業内容	方法	備考
1	1. 関連図の目的と書き方 2. 呼吸に関連する症状 1) 呼吸機能のメカニズム	講義 ポストテスト	
2	2) 症状の発生のメカニズムの過程、随伴症状と成り行き 個人ワーク ①胸水 ②咳嗽・痰	演習（協同学習の準備） 課題レポート	
3	グループワーク①胸水 ②咳嗽・痰	協同学習 ポストテスト	
4	3. 循環に関連する症状 1) 循環機能のメカニズム 2) 症状の発生のメカニズムの過程、随伴症状と成り行き 個人ワーク①浮腫 ②黄疸 ③褥瘡	講義/演習（協同学習の準備） 課題レポート	
5	グループワーク ①浮腫 ②黄疸 ③褥瘡 まとめ	協同学習 ポストテスト	
6	4. 排泄に関連する症状 1) 排泄機能のメカニズム 2) 症状の発生のメカニズムの過程、随伴症状と成り行き 個人ワーク ①便秘 ②排尿障害 ③多尿	講義/演習（協同学習の準備） 課題レポート	
7	グループワーク ①便秘 ②排尿障害 ③多尿 まとめ	協同学習 ポストテスト	
8	関連図の修正 終了試験	個人ワーク 終了試験	
受講上の注意 ・科学的な思考能力を養うトレーニングの方法として、意図的にその思考を関連図に記録しほかの人に説明していくことで、分析力を自分のものにしていきましょう。			
評価方法 課題レポートを含む演習への取り組み・成果30点 ポストテスト30点 筆記試験40点			
使用するテキスト Gakken 看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 解剖生理学 医学書院			
参考文献			